

多美&としやの 市政報告

2019年
9月号
第48号

発行者：日本共産党大垣市議団
発行日：2019年9月1日
連絡先：大垣市室本町5-8
Tel 78-6865 Fax 73-8572



中田としや
建設産業委員
Eメール nakatatoshiya015@gmail.com
はんざわ多美
教育福祉委員・市民病院に関する委員
Eメール hancyan_tamicyan@gmail.com



9月議会(9月2日~18日) 消費増税前提の 補正予算などの審議すすむ

9月2日から18日まで9月議会が開催され、補正予算・条例の審議が行われます。

議案と日程を紹介します。

【補正予算】

消費税増税に伴う事業や、同時に始まる保育無償化に伴う補正予算が計上されています。

- 自治体ポイント発行事務事業 590万円
- 預かり保育無償化給付費 860万円
- 認可外保育施設等無償化給付費 1020万円
- 教材費等実費徴収費用補助金 270万円

★ 保育無償化については給食費の無償化も併せて要望してきました。今議会でも発言します。

- 学習館文化会館防災設備更新 720万円
- 東京オリンピック聖火リレー 岐阜県実行委員会負担金 420万円
- 南公園野球場防球ネット 2300万円

【条例】

- 大垣市会計年度職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定

9月議会日程

日	曜	時	会議名
2	月	9:30	議員総会
		10:00	本会議(提案説明)
4	水	10:00	一般質問申込 質問順位抽選
9	月	10:00	本会議(一般質問)
11	水	9:00	決算委員会
12	木	13:00	市民病院に関する委員会
13	金	9:00	建設産業委員会
		13:00	教育福祉委員会
17	火	9:00	総務環境委員会
18	水	9:00	議会運営委員会
		10:00	本会議

★ 市役所の非正規職員の新たな制度。非正規労働者・非正規職員の処遇改善につながるような適切な運用を求めたい。

【契約締結】

- 荒崎幼保園改築 5億円
- 【財産の取得】
- 新庁舎電子掲示板等一式 3905万円

子どもの居場所を求めて

中田としや

8月が終わろうとしている。1歳と3歳の子どものうち、夏らしいことを体験させてやりたいと考えてはいたが、子どもの夏バテや夏風邪でそう計画通りことは運ばず。夕方に近くの公園や情報工房・江東地区センターで遊ぶくらいであった。

休みの日、子どもは遊びたい。親は遊びに連れて行ってやりたい(休みたい時もある)。身近な遊びに行けるスポットとして、児童館のような、見

守りの方もいて、就学前児童も学齢期の児童も遊びに来ることができ、大人も大人同士ちょっとおしゃべりできるような、そんな居場所があるとうい。子連れで帰省している同世代の友人にそんなところで出会って、「久しぶり、大垣こんな遊べるとこあっていいね」とでも話せたら素敵ではないか。

引き続き子どもの居場所作りに取り組んでいきたい。

映画「沖縄スパイ戦史」上映会

日時…9月29日(日) 午後1時30分～

場所…大垣市総合福祉会館

主催…弁護士法人ぎふコラボ・ぎふコラボ友の会

上映協力券…500円(当日700円) ★18歳以下無料



国民の立場で真実を伝え続ける
しんぶん赤旗をお読みください
日刊紙…3497円 日曜版…930円

子どもたちの夏の遊び場はどこ？

はんざわ多美

夏休みが終わりました。子どもたちはいよいよ二学期の始まりです。どんな夏休みを過ごしたでしょうか。最近、暑さの中での熱中症が心配されています。

そうした中で、子どもたちは、長い夏休み、どこですごしていたのでしょうか。夏休み中、学校のプールが開催されていないところも多くなっているようですし、私の家の近くの西公園でも子どもたちの姿がほとんど見られません。

8月のある晴れた日曜日に、息子と一緒に、西公園の日中温度と公園内の人数を観察してみました。

時間	6:30	9:00	13:00	16:00	18:00
子供	0人	0人	0人	0人	4人
大人	3人	2人	4人	2人	3人

暑すぎず寒すぎない季節には、遊具や広場で多くの子どもたちと見守る大人たちでにぎわう西公園です。気候のいいある日曜日、数えると80名ほどの人たちが思い思いに遊んで過ごしていました。ところが、夏は、一日を通じてほとんど人がいないのが実態です。

また、公園の気温では、「太陽

があたる机の上」と「太陽があたらない机の上（東屋の下）」の温度差は、日中の時間帯では、約10℃も差があることがわかりました。日陰はやはり涼しいのですね。

この日はあいにく子どもたちのすがたはあまり見えませんでした。それでも蝉の鳴き声につられて子どもたちは公園にでてきます。また、散歩をする高齢者も少なくありません。暑さ指数が31度以上になると、熱中症「厳重警戒」ともいわれています。そうしたときには、日陰やベンチを積極的に取り入れた公園の整備も大切だと痛感しました。

第3次子育て支援計画は令和2年スタート

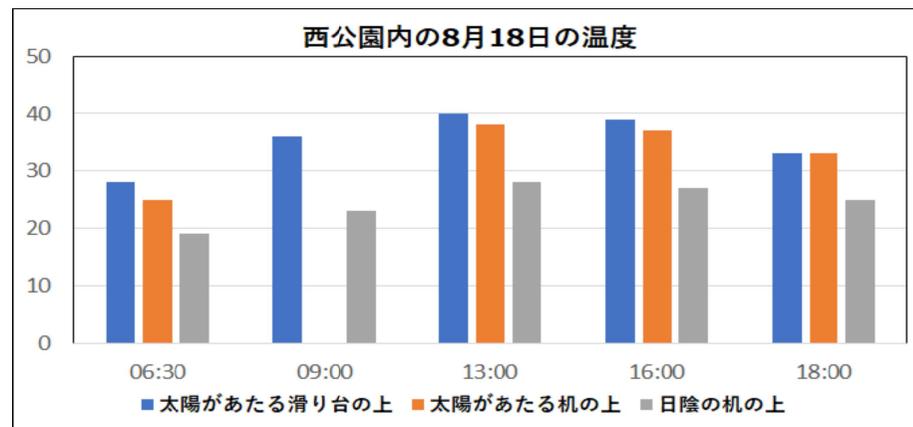
夏休みの子どもたちの過ごし方について、お母さんたちにお聞きす

ると、以下のような声がありました。

- ・ 外は暑くて長時間遊ばせられない。
- ・ 子どもがゲームを家の中でやり続けてしまう・・・
- ・ 友達の家も子どもだけで留守番していて、お互いの家遊びに行きづらく、自分の家で過ごすしかない。
- ・ 子どもだけで行って遊べる施設がほとんどない。児童館や放課後児童クラブのような施設がほしい。
- ・ 5年生からは留守家庭児童教室が利用できない。5年生からが活動範囲が広がり自信もついてくるぶん、本当に心配なだけけど・・・

こうした声を聞きながら、特に小学生が充実した長い夏休みを過ごせるよう、環境整備をしっかりと進めていくことが大切だと感じています。

現在大垣市は、第3次子育て支



援計画を作成中です。この計画は、来年度から実施されるものです。期間は5年分になります。充実し

た支援計画ができるよう、9月議会の一般質問に臨みます。

「ぞう列車」が走って70年 「ぞうれっしゃ」が大垣にもやってきた

笹田トヨ子

戦前、東山動物園にはサーカスから譲られたゾウ4頭がいて、芸をするゾウとして一躍動物園の人気者になりました。大垣市松町に住む山田隆信さん(85歳)も小学生の時、東山動物園のサーカスのゾウの背中に乗った一人です。「ゾウの背中は毛が堅くて痛かった」とその時の感触を話してくださいました。

しかし、戦争末期で戦況が悪化すると、全国の動物園に猛獣を殺す命令が出され、多くの動物が殺されました。名古屋の東山動物園でも猛獣を殺す命令が下り、トラやライオンが処分されましたが、多くの人々の努力でゾウのマカニーとエルドーが生き延びました。戦後、このゾウを見るため

に、1949年、全国各地から子どもたちを乗せた特別列車が名古屋にやってきました。この実話は絵本(作・小出隆司)となり、今では「ぞうれっしゃがやってきた」の合唱曲(作詞・清水則雄、作曲・藤村記一郎)として歌い継がれています。

今年「ぞう列車」が走って70年になり、全国各地でこの音楽物語「ぞうれっしゃ」が歌われています。大垣市でも「ぞうれっしゃ」大垣実行委員会が結成され、9月1日(日)、スイトピアセンター文化ホールでコンサートが行われました。

今回の大垣での「ぞうれっしゃ」は、10年かけて思いを募らせてきた杉原幸子さん(共産党元市議)はじめ多く

の人たちの力で実ったものでした。この日は、杉原・笹田・はんざわと元職から現職まで3人の市議メンバーも合唱に参加しました。

